

清水高等学校新校舎等整備事業基本設計委託業務公募型プロポーザル審査結果について

1 審査について

参加申込書の提出があった6者のうち、資格要件を満たしている5者に企画提案書の提出を求め、審査委員会を開催し、審査を実施した。

- (1) 日時 令和3年2月18日(木) 午前9時から午後2時00分まで
- (2) 場所 高知県職員能力開発センター2階202号室(高知市丸ノ内二丁目1番19号)

2 審査項目及び方法

審査項目及び配点は以下のとおり

- | | | |
|------------|-----|-------------------------------------|
| (1) 業務実績 | 20点 | } 100点(審査委員一人あたり) × 審査委員5名 = 合計500点 |
| (2) 技術力 | 10点 | |
| (3) 業務遂行能力 | 15点 | |
| (4) 提案内容 | 55点 | |

審査方法は、ヒアリング(プレゼンテーション及び質疑応答)により各審査委員が審査(採点)を行った後、審査委員全員の審査(採点)を集計し、清水高等学校新校舎等整備事業基本設計委託業務公募型プロポーザル審査要領(以下、「審査要領」という。)に基づき、契約の相手方となる候補者及び次点者を選定した。

3 審査結果

	参加者名	最高得点を付けた 審査委員数	審査委員が採点した点 数の順位に対応する点 数の合計
第一位(候補者)	石本建築事務所・若竹まち づくり研究所設計共同企業体	3	22点
第二位(次点者)	A共同企業体	0	17点
第三位	B共同企業体	2	16点
第四位	C共同企業体	0	15点
第五位	D共同企業体	0	5点

審査要領の4（6）（ア）①に基づき選定した結果、石本建築事務所・若竹まちづくり研究所設計共同企業体が候補者となった。

また、審査要領の4（6）（イ）①に基づき選定した結果、A共同企業体が次点者となった。

4 審査委員の主な意見

（総括）

- ・ 周辺地域から清水高等学校を見た際の外観だけでなく、清水高等学校から土佐清水市街地を見下ろすことにより郷土愛を育む提案がされておりよかった。
- ・ 敷地が狭い中で、各者工夫を凝らした提案を出していた。
- ・ 各者がコンセプトを理解していた。

（候補者）

- ・ 候補者の提案は、施設内の配置や動線が工夫され、外観もデザイン性に富んでいることから、土佐清水市においてシンボリックで記憶に残る建物となるのではないかと。
- ・ メンテナンス等コスト面を精査しつつ、生徒が使いやすい建物となるように、土佐清水市教育委員会などの関係機関と協議し作り上げてもらいたい。
- ・ ガラスの飛散防止や自家発電設備など、災害時にも対応できる施設となるよう設計してほしい。
- ・ 住宅地から見上げた際の視線カットを考慮してほしい。